

在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会

目 的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙「わがや」の発行
- その他、在宅医療に関する啓発関係の検討

第 3 回 部 会 内 容

<p>第3回部会 オンライン会議 1月27日(木)</p>	<p>I 報告 (1) 地域啓発活動について (2) 在宅医療情報紙「わがや」について (3) 認知度アンケート評価について II 議事 (1) 「無関心層への啓発活動」について III 今後について</p>
---------------------------------------	--

I 令和3年度活動報告 (1) 地域啓発活動について

① コロナ禍の中，オンラインを活用し，新しい取り組みを模索しました

- Zoom活用したハイブリッド講演の開催
- わたしの望みノート活用講座とコラボ
- 「人生最期まで住み慣れた“わがや”で暮らしたい」ブックレットの活用

対 象	申し込み件数	実施件数 (他職種講演回数)	参加人数 *延数
老人会・サロン・町会など	4	2 (0)	56
民児協・地区社協・ふる協	4	2 (1)	91
その他 (市民団体,NPO等)	4	2 (0)	34
合 計	12	6 (1)	181

(令和4年1月18日時点)

■コロナの流行状況に応じ，参集での出前講座とオンライン講座を柔軟に織り交ぜながら実施。



② デジタルサイネージによる「柏の在宅医療」動画放映

○PR版(30秒)

☆柏駅二番街・南口・東口



☆市役所本庁舎
1階総合受付前
モニター



☆柏の葉キャンパス駅



○「柏の在宅医療動画」本編版(約7分)

☆本庁舎1階
J:COMモニター



《柏市公式ホームページ掲載中》



I 令和3年度活動報告 (2) 在宅医療情報紙「わがや」について

■第18号「コロナ禍だからこそ心強い『かかりつけ医』」

- 市民からの反響やや増加 (37件⇒60件)
- ターゲット層 反響やや増加 (16件⇒23件)

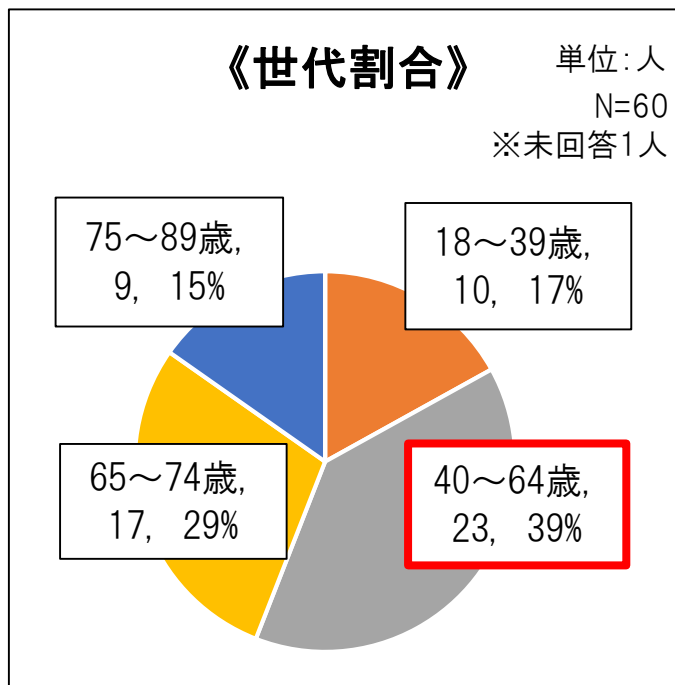
※わがやを通じて厚生労働省よりお問い合わせあり。
「かかりつけ医機能の好事例」として「柏モデルガイドブック」の省内周知の希望をいただいた。

■第19号「今から知っておこう！ 支える家族の視点からひも解く、退院に向けたサポート！！」

- 親の退院時にターゲット層の支え方の紹介を通して、「在宅医療の入口」を紹介

《第18号》

《第19号》



○平均年齢 58.5歳
(最年少30歳, 最年長88歳)

柏市在宅医療情報紙 Vol.18

今のご時世、支えるにはちょっと大変に...でも体調や健康のことは気になります！

コロナ禍だからこそ心強い『かかりつけ医』

新型コロナウイルス感染症が横行してからすでに1年以上。ワクチン接種も進んでいますが、以前と同じような日常生活にはまだ慣れていません。自分や家族が明日、体調を崩したらどうしようかと、遠慮しなくても支えたい方もいらっしゃるのではないでしょうか。今号では、いざという時の心強い味方「かかりつけ医」を紹介しました！

「かかりつけ医」って？

「かかりつけ医」とは「健康のことや医療に対する不安など何でも相談できる、身近な地域にいるお医者さん」のことです。

信頼できる「かかりつけ医」をみつけよう！

保険適用外の受診の他に、難病(難病)や手術前後にも相談と直接話をする機会です。自宅から遠いやすく、相談や質問に自分から対応してくれるなど、言葉はコミュニケーションの取りやすさ、信頼できるかかりつけ医を見つけるための大切なポイントです。

柏市内の情報を探してみよう！

自宅近郊の医療機関を探すなら、柏市医師会ホームページの【医療機関検索】が便利です。

診療科目や受診ししたい時間、地域から市内の医療機関の一覧を見ることができます。

「新型コロナワクチン接種に関する情報」公開中！

柏市公式ホームページは、市内のワクチン接種の予約方法や自治体から送る最新情報を発信しています。柏市ホームページからアクセスできます。

新型コロナワクチン接種の予約方法、接種したい場合は、柏市公式ホームページからアクセスしてください。
【接種予約】0476-3333(7時～20時) 【受付時間】9時～17時

「新設で動画で在宅医療を学ぶ！」

新設では、在宅医療のイメージをもっと広げようという思い、様々な支え方を発信しています。柏市在宅医療について知ることが出来る「在宅医療情報紙」や「わがや」の動画も活用して、在宅医療について学んでください。

柏市在宅医療情報紙 Vol.18 1510

柏市在宅医療情報紙 Vol.19

今から知っておこう！ 支える家族の視点からひも解く、退院に向けたサポート！！

とつげんさんが支える家族に役立つ情報、退院を支援してサポートするための情報にしたいです。今号は退院前の「これからどうしたらいいだろう」という不安を解消するために、退院の現実についてご紹介します。

退院に向けたサポート

退院に向けたサポートには、退院前には多くの人が支える家族に役立つ情報、退院を支援してサポートするための情報にしたいです。今号は退院前の「これからどうしたらいいだろう」という不安を解消するために、退院の現実についてご紹介します。

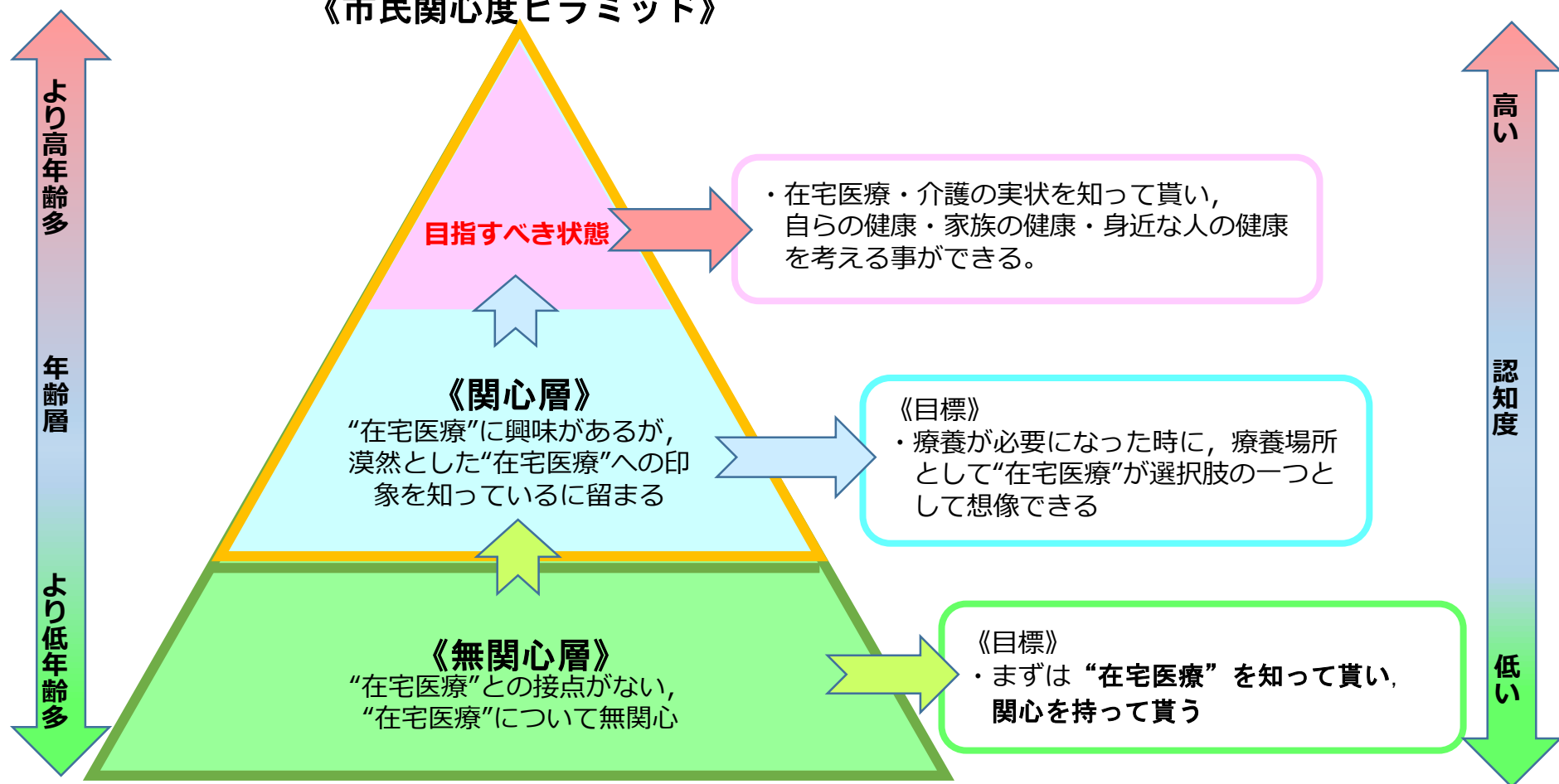
退院に向けたサポート

退院に向けたサポートには、退院前には多くの人が支える家族に役立つ情報、退院を支援してサポートするための情報にしたいです。今号は退院前の「これからどうしたらいいだろう」という不安を解消するために、退院の現実についてご紹介します。

“在宅医療”の認知度と目指すべき状態

- 在宅医療への関心度と認知度は似ている概念
- 目指すべき状態の市民を増やす為に、
関心層と無関心層の両方に対して、啓発をする事が重要

《市民関心度ピラミッド》



在宅医療の認知度評価について

「◎：市民全体の在宅医療認知度」と「●：各取り組みの評価」の2本立て

《市民全体の在宅医療認知度》

◎ 「柏市まちづくり推進のための調査」

(1回/2年: データ分析室実施)

⇒ 全市民の認知度として把握

◎ 「在宅医療認知度アンケート」

(1回/1年: 地域医療推進課)

⇒ 【三師会/出前講座/世代別】の推移確認

● 在宅医療情報紙「わがや」

- ・ 配布枚数など
- ・ 市民からのわがやクイズ件数・内容
- ・ 柏地域医療連携センター 相談件数等

市民関心度ピラミッド

《市民全体：429,567人※》

【※令和3年4月1日時点】

目指すべき状態

ターゲット層

《働き盛り・子育て世代》
《144,893人※》

《関心層》

《関心層》

《無関心層》

《無関心層》

● 地域啓発活動「出前講座」

- ・ 参加者へアンケート実施
- －事前アンケート
- －事後アンケート

● 柏市公式ホームページ

- ・ 柏市公式ホームページ
- 「柏の在宅医療」閲覧件数など
- ⇒ 【認知度芽生え指数】

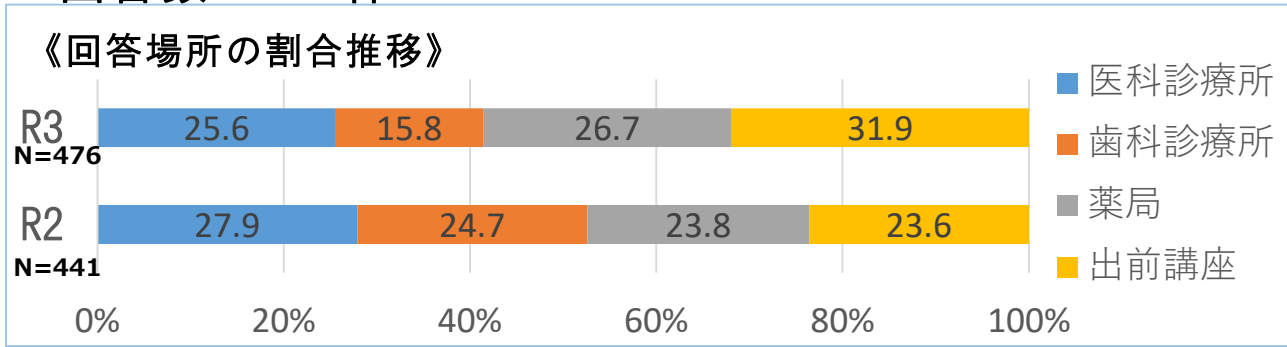
● 新「無関心層への啓発」

- ・ 各取り組み別での評価
- 例) ブログ閲覧件数
- 参加者アンケート等

I 令和3年度活動報告 (3) 在宅医療認知度アンケートについて

■在宅医療の認知度を把握するために毎年実施しています。

回答数 476件



実施期間	令和3年11月～12月 (出前講座は随時調査)
対象	市民 (医科診療所, 歯科診療所, 薬局などの来訪者, 出前講座の参加者)

《結果 (サマリー)》

認知度を把握するための質問
※「知っている」と答えた人の割合

Q1 通院が困難となった場合に在宅医療を利用できることを知っていますか？	▲66.8%
Q2 在宅医療を利用したい場合、どこに相談したらよいか知っていますか？	▲42.2%
Q3 柏市で年2回発行している、在宅医療情報紙「わがや」を知っていますか？	▼25.9%

医療機関/出前講座別※	R3【N=476】	R2【N=441】	医療機関, 出前講座別※
	医療機関(▲60.0%) 出前講座(▲82.0%)	62.6%	62.6%
医療機関(▼33.0%) 出前講座(▲62.0%)	39.4%	39.4%	医療機関 (33.2%) 出前講座 (59.8%)
医療機関(▼20.0%) 出前講座(▼38.0%)	29.0%	29.0%	医療機関 (24.5%) 出前講座 (41.3%)

※各集団の中で「知っている」と答えた人の割合

- 今年度は全体の認知度が昨年度に比べやや向上した。
次年度は、無関心層への啓発の本格化に伴い、その効果は別途評価をしていく必要あり。
- 一方で「わがや」についての認知度がやや低下している。
⇒配布場所や周知方法についてより効果的な方法を検討していく。

○第1回啓発広報部会のご意見をもとに、「無関心層への啓発活動」について、ターゲット層を選定⇒働き盛り・子育て世代を選出

○第2回啓発広報部会

- ①「無関心層への啓発活動」の3つの企画(案)に対して、3つのチームを編成
- ②各チームで、各企画方針(案)の具体を検討

《部会後の活動》

第2回部会の方針に沿って、事務局が活動内容や実現可能性を調査。

《チームミーティングの開催》

チームごとに部会員が集まり企画を検討。企画案を作成（別添資料のとおり）

○第3回啓発広報部会 各チーム企画案について意見交換と情報共有

◎ターゲット層：働き盛り・子育て世代

◎目的：在宅医療（地域包括ケアシステム）を知って貰うきっかけづくり

◎目標：身近な親や祖父母の健康（在宅医療）について考えらる市民を増やす

スポーツTeam

ENEOSサンフラワーズチーム選手へ、インタビュー！

在宅医療情報紙「わがや」第20号（9月1日発行）に記事掲載

グルメTeam

「“わがや”のスープ」コンテスト！

～誰もが満足する 食のバリアフリー～

有名人Team

有名人を活用した動画を配信！

複数の有名人と共に作成した動画を継続的に配信

《グループワーク：30分》

目的：各チーム企画案について意見交換と情報共有

方法：混成チームで、幅広い視点での話し合いとなるよう工夫

《1G》

《2G》

《3G》

スポーツ
チーム

- ・ **有名人チームとのコラボ**も検討できる。
- ・ サンフラワーズのYoutubeチャンネルに相乗りするのがよいのではないか。
- ・ **選手のリハビリ**については在宅医療と共通部分があって良い。

- ・ 企画案にある選手はすごい選手。**有名人チームとコラボ企画**が成り立つ。
- ・ 先方が希望するイベントに**乗り合わせる方法**が現実的。
- ・ 在宅医療も、チームドクターも**裏方に焦点をあてる構図**が良いと思う。

- ・ 柏プロジェクトとサンフラワーズの**NO.1を結びつけるのは良い**。
- ・ 選手を支えるチームドクターを支える在宅医療という**裏方紹介は良い視点**。

グルメ
チーム

- ・ スープは手軽に作れる。気取ってなくて良い。
- ・ コンテストを**みんなで観戦**するもの良い。
- ・ **介護施設に募集の依頼**をしてはどうか。

- ・ **地産物のスープ募集**が良い。
- ・ どの様なスープを市民に募集するのか検討が必要。
- ・ スープの形態によって**募集要件に載せる情報が違ってくるので、検討**すると良い。

- ・ **景品が良いと参加者のモチベーション向上**するのではないかと。
- ・ 食から在宅医療へ繋ぐことは非常に楽しみ。**突破口になる**のではないかと感じている。ネタがつかないように工夫していく必要がある。

有名人
チーム

- ・ 「笑っていいとも」形式の**友達の輪のアイデア**が良い。
- ・ 「わがや」を物語調で**実演**するのは、面白い。
- ・ 「わがやコーナー」をイベントでテント方式で設けると良い啓発になると思う。

- ・ 基本的に有名人を起用しての動画撮影はハードルが高い。
- ・ 「親に関心を寄せよう」と**思うショートムービー作成**はどうか。
- ・ 地元学校の演劇部とコラボして動画作成は良いのではないかと。

- ・ 「在宅医療大使」として**グルメ、スポーツ企画にも参加してもらうのは良い**のではないかと。
- ・ 継続して発信していくことが大切。

グループワークを終えて

- 各企画に対し新しいアイデアが生まれた。
- どのグループからも、企画間のコラボレーションについて意見が出された。
- 実現の可能性や継続性の観点から、現実的な視点も重要と共有された。



★次年度に向けて★

- ・引き続き、3つの企画実現に向けて検討を進めていく。
- ・各企画が有機的に乗り合わせながら、効果的になるように工夫する。
- ・幅広い市民の目に留まるよう、継続的な情報発信を戦略的に企画しながら活動していく。

当面の間、新型コロナウイルス感染症の影響が想定されるため、様々な工夫を取り入れながら、できる範囲での活動を続けてまいります。

【R4年度 啓発広報部会 第1回スケジュール(案)】

◎5月頃開催予定

【R4年度 啓発広報部会 活動内容予定】

◎ 在宅医療情報紙「わがや」第20・21号発行

◎ 無関心層への啓発活動 《スポーツ・グルメ・有名人チーム活動》

◎ 既存活動の充実：出前講座のオンラインの活用

－「柏の在宅医療」動画の活用

－「人生の最期まで住み慣れた“わがや”で暮らしたい」ブックレットの活用

○在宅医療に興味関心のある市民には、在宅医療の実情が分かるように

○在宅医療に興味関心がない市民には、在宅医療への興味関心が芽生えるように

必要な人に必要・有効な情報を、届けられる様に取り組んでいきます。